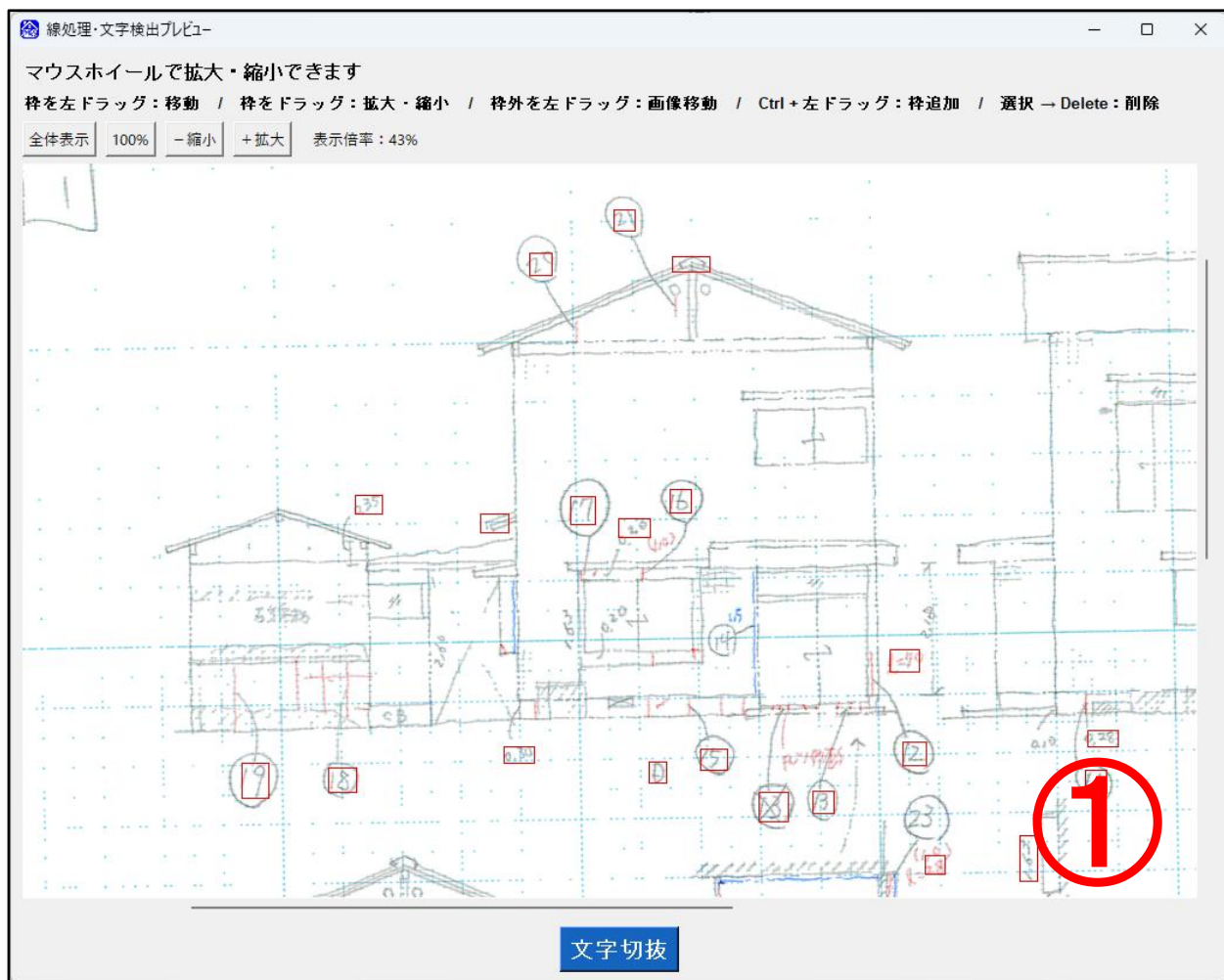
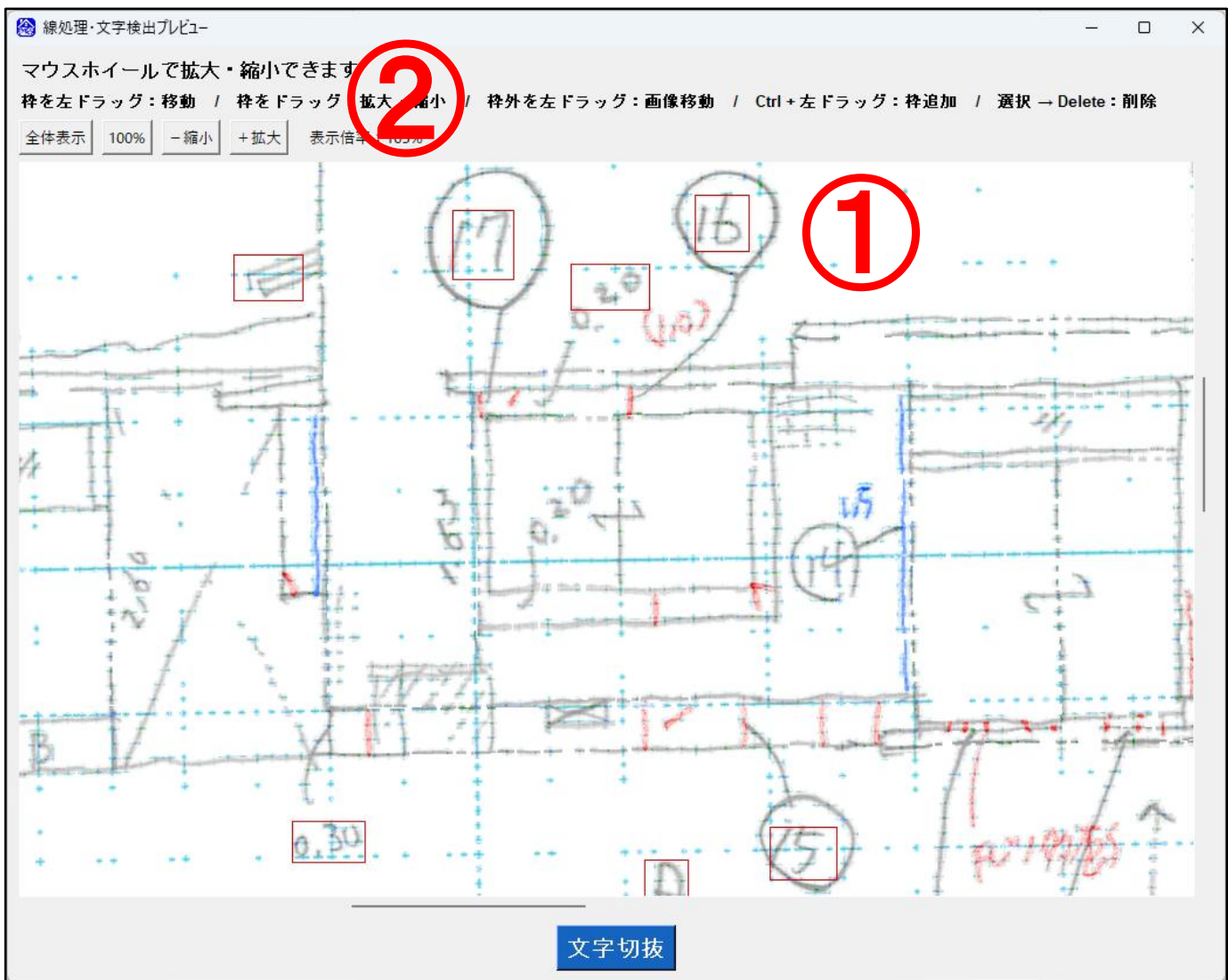




- ① 文字を検出したいファイルを選択します。
- ①-1 選択されたファイル名が表示されます。
- ①-2 選択されたファイルプレビューです。
- ② 各種設定画面です。（JWCADに準拠しています）
- ③ 「新規文字検出」ボタンを押してください。



①手書き文字が自動で抽出されます。



① 文字抽出

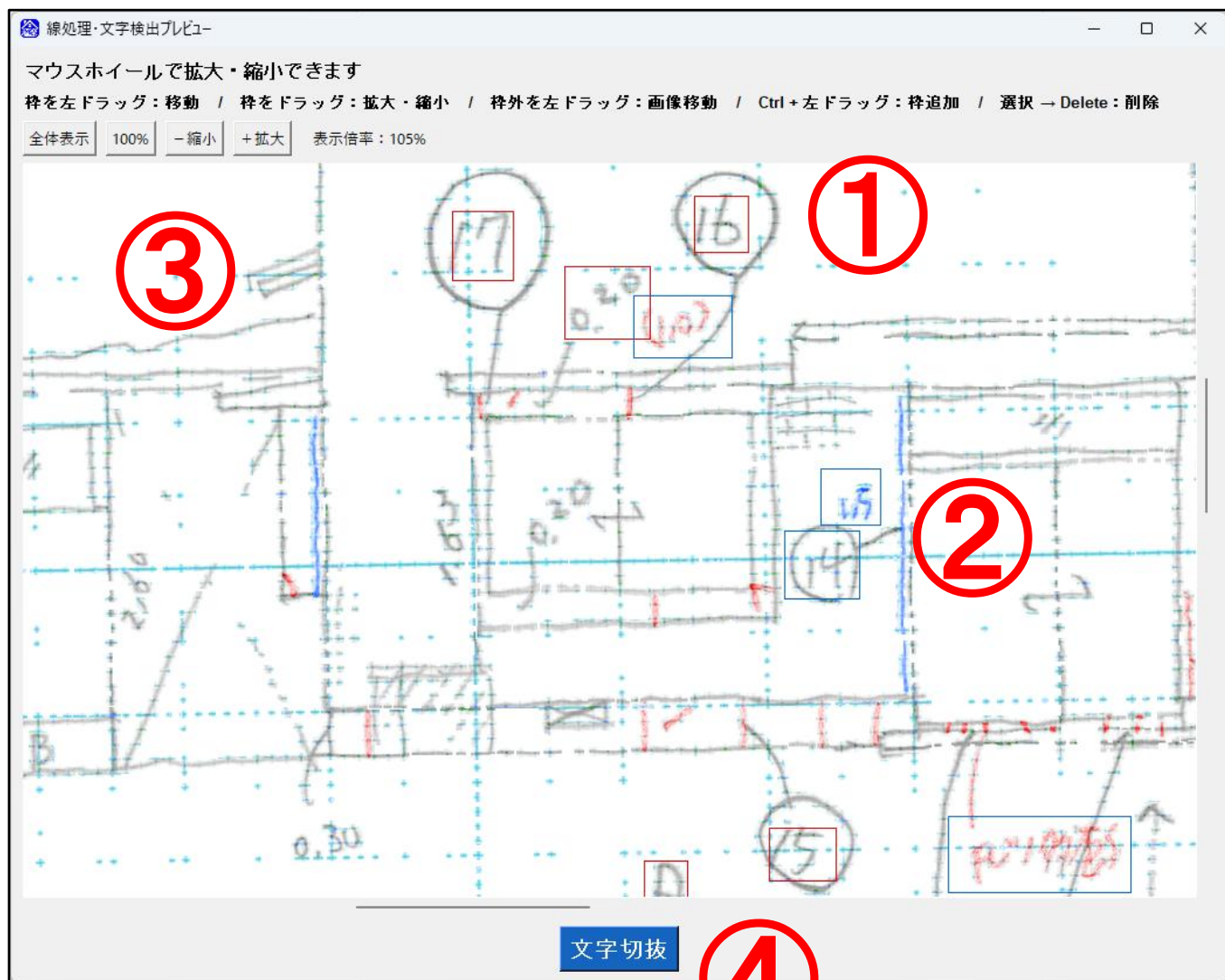
自動で判断しているので間違い、認識されていないものもあります。

② プレビュー画面の機能

マウスホイールで拡大・縮小・赤枠を左ドラッグ: 移動

赤枠をドラッグ: 拡大・縮小・枠外を左ドラッグ: 画像移動

Ctrl+左ドラッグ: 枠追加・選択→Delete: 削除



- ①抽出された文字枠は赤枠となります。
- ②Ctrl+左ドラッグで追加したものは青枠となります。
- ③間違っって抽出したものは、選択→削除 (Delete)
- ④「文字切抜」ボタンを押してください。



①文字枠が切抜されて一覧表示されます。

②自動で文字認識できますが、手書きのため精度は、かなり低いです。

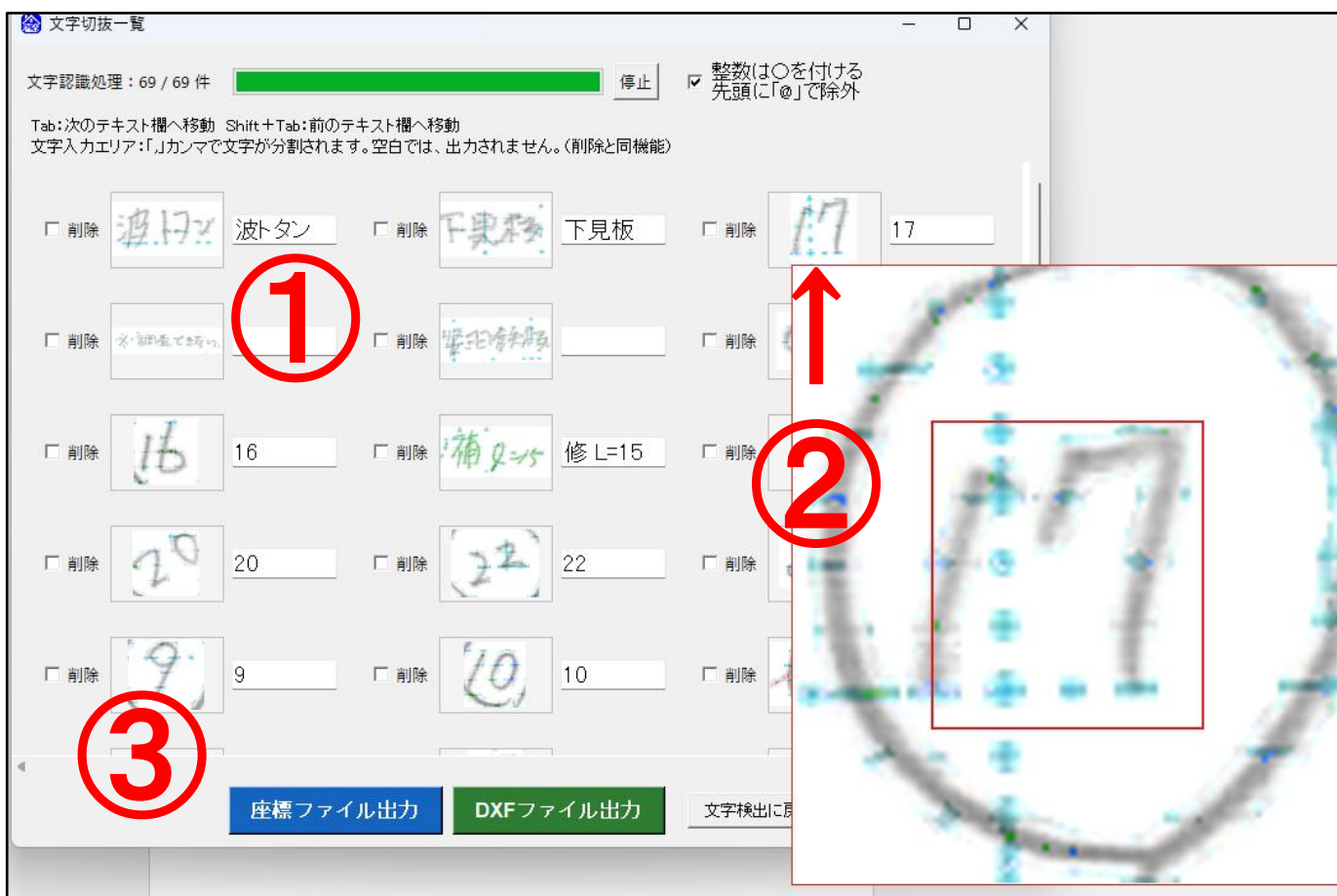
③手入力で、文字、値を入れます。

④「設定」

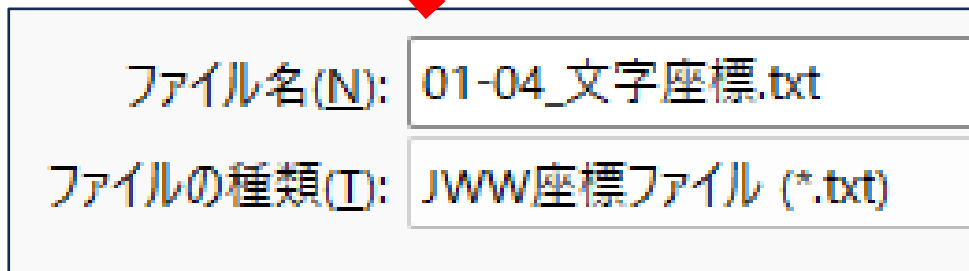
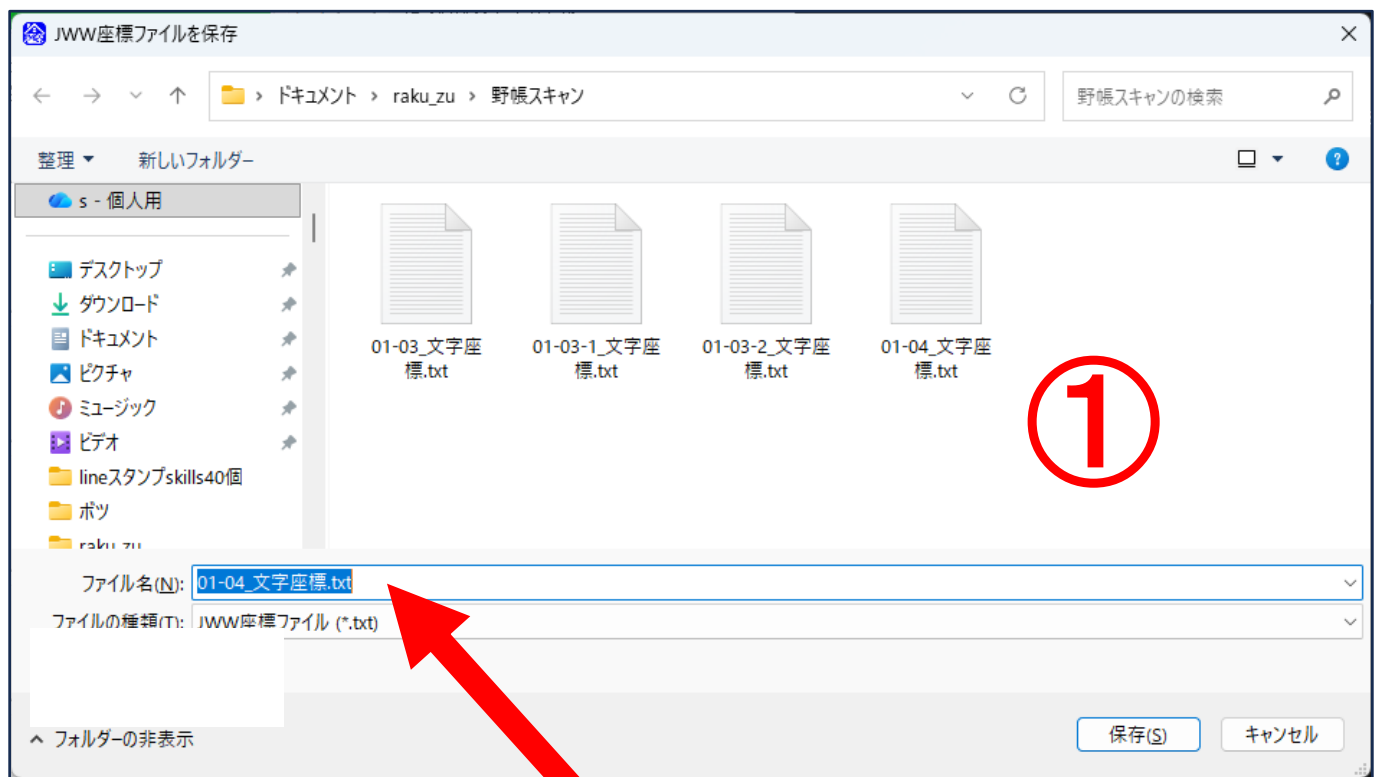
整数は、○を自動で付けられます。（先頭@で除外）

同じ枠で「,」で区切ると別文字として認識。

枠が空白だと、文字は出力されない。

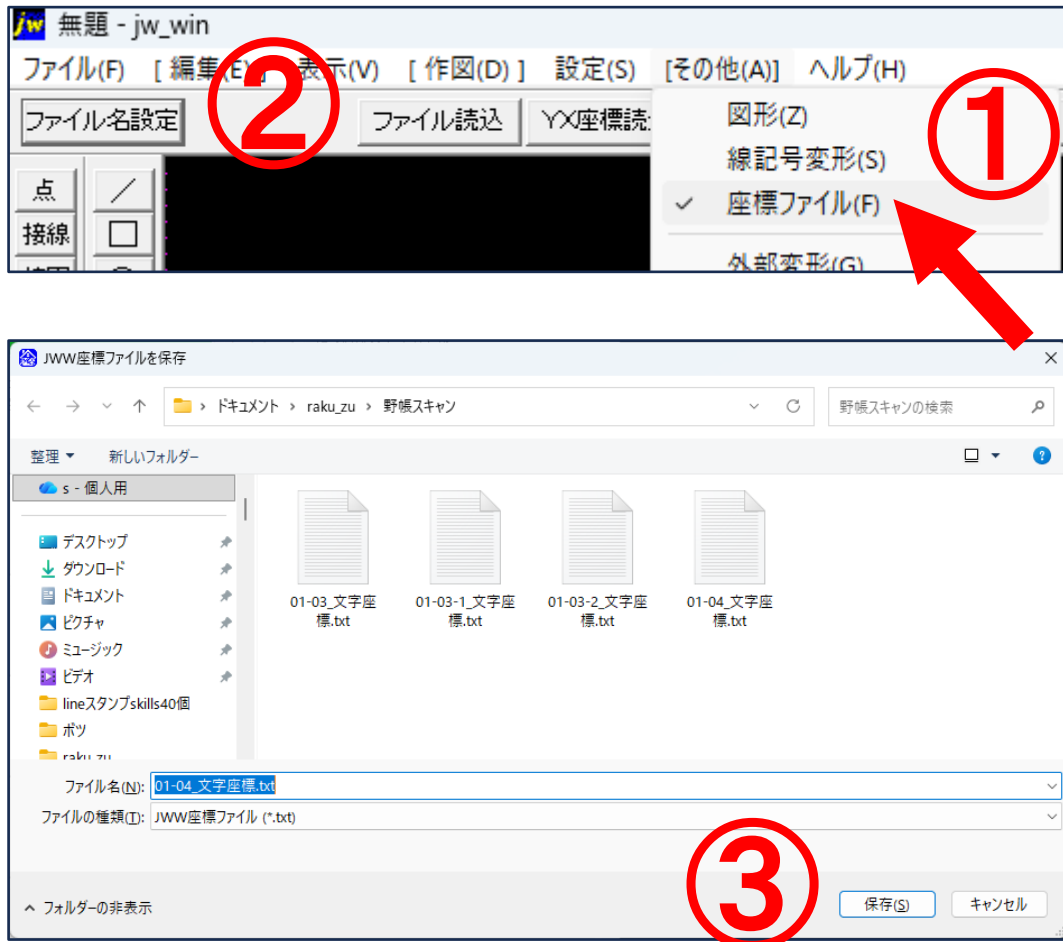


- ① 全て手入力を済ませます。
- ② 切抜文字の上にマウスを置くと、文字が拡大される。
- ③ 「座標ファイル出力」ボタンを押してください。
「DXFファイル出力」も用意しています。

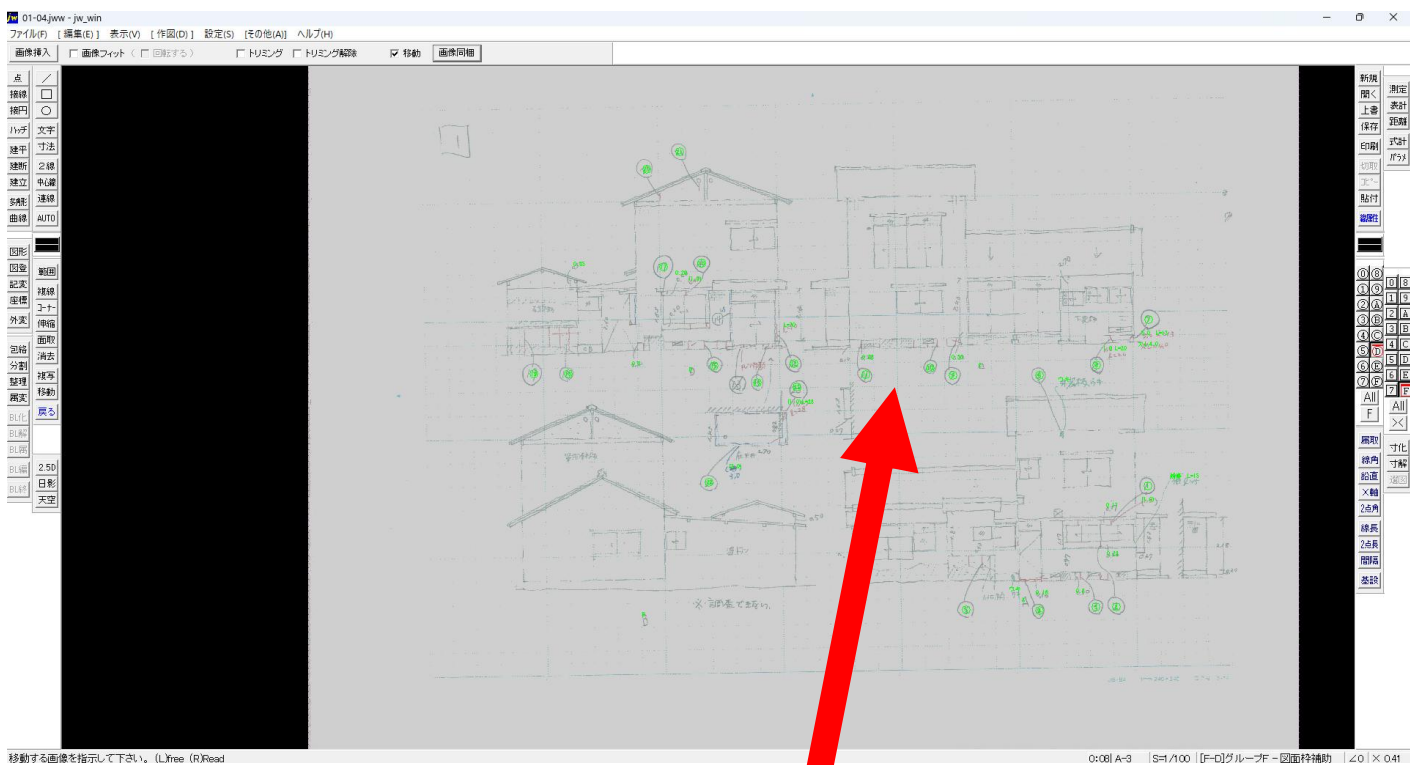


- ①最初の画像を読み込んだフォルダ内
- ②「ファイル名_文字座標.txt」で保存されます。

JWCAD側



- ① JWCAD その他→座標ファイル
- ② 「ファイル名設定」 ボタンをクリック
- ③ 「ファイル名_文字座標.txt」 を開く



JWCADの画面の左下をクリックしてください

→文字が表示されます→もう一度左クリックで位置が確定されます。

整数は、円が自動的に付いています。

(ベースに敷かれているのは、「超楽」で画像加工した野帳を敷いています。)



ベースに敷かれている画像が斜めになっているときは、
範囲全選択⇒移動⇒基点⇒「角」ボタンで、画像を水平にできます。

そのとき、文字も角度が付いてしまいます。

修正は、

範囲全選択⇒編集⇒データ整理⇒文字角度整理

で、角度は直ります。